

ビジネス EXPO

第38回 北海道 技術・ビジネス交流会

創造的破壊を北海道から ～GX/DX/SXで革新的イノベーションを～

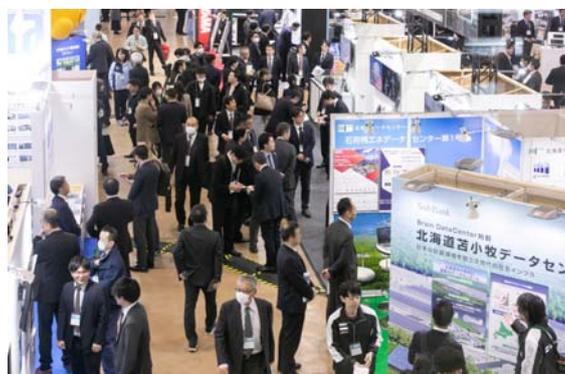


- 開催日：2024年11月7日（木）～8日（金）
- 出展者数：308企業・団体・大学・研究機関
- 出展規模：294小間

2日間の来場者数 計 21,261名！！

北海道の経済活性化や産業振興のため、新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大の展示会“ビジネスEXPO「第38回 北海道 技術・ビジネス交流会」”が11月7日（木）・8日（金）の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催されました。

今年の出展者数は308社・機関、出展規模は294小間となりました。今年度のテーマである“創造的破壊を北海道から ～GX/DX/SXで革新的イノベーションを～”に相応しい、北海道の課題解決に繋がるような魅力あふれる製品・サービス・研究成果が揃った展示会となりました。



開会式は、名誉会長 鈴木直道北海道知事、藤井裕実行委員長（ノーステック財団理事長）の開会挨拶を始め、鈴木北海道経済産業局長、秋元市長のご挨拶、及び、主催・同時開催機関・来賓計13名によるテープカットなどを行い、報道関係者の皆様や関係機関の皆様が多数出席する中、華やかな雰囲気での開会となりました。



例年の5ゾーンに加え、開催テーマに沿って「未来創造ゾーン」を昨年に引き続き設置し、昨年初めて設定しました「半導体ブース」を大きく拡大するとともに、新たに、「北海道データセンター」、「北海道発スタートアップ」、「Team Sapporo-Hokkaido」ブースや、「ゼロカーボン北海道」、「宇宙関連」ブースも設け、既存の考え方にはとらわれない新たなビジネスモデルを来場者にお披露目いたしました。また、ロボットアームなど、省力化やDX促進に繋がる最先端機器を紹介する「先端技術ゾーン」等、時代の潮流に合う展示内容は、多くの来場者に北海道の新たな可能性を感じていただけたのではないのでしょうか。



突然の大雪により、道路の交通障害や公共交通機関の遅れが発生し、昨年より来場者は減少いたしました。その中でも、両日ともに多くのビジネスマンが来場し、出展企業・機関の皆様からは、「来場者は、真剣な方が多く、熱意や期待感を持って、未来創造ゾーンをはじめ、それぞれのブースに来ていただいていた」「昨年以上に受取名刺の数、ブース来場数が多かった」「期待以上の成果が得られたので、来年もまた出展したい」などといった声が聞かれ、主催者としてビジネスチャンスの創出に寄与することが出来ましたことを大変嬉しく思います。

また、昨年に続き、工業高校・高専・大学生を含めた約1,200名をご招待し、就職活動支援を行いました。参加された多くの学生からは、「企業がどんな仕事をしているのかを肌で感じる事が出来て、就職の具体的なイメージを持てた。」「学生である私たちに対しても優しく会社のことなどを教えてくれて、とても楽しかった。」「今まで遠く感じていた企業や就職について、何となく理解でき、身近になった。」「出展者に若い方が多く、暖かく接してくれたので、積極的に質問をすることができた。」といった好意的なコメントが寄せられております。



2日間とも多数の来場者の方々にお越しいただき、さまざまな製品や技術を興味深くご覧いただきました。

ビジネスセミナーにつきましても、開催テーマに合致する、素晴らしい講師の皆様にご登壇いただき、多くの聴講がありました。特に、「半導体」「AIデータセンター」セミナーは、立ち見をされている方やメモを取られている方も多く、熱気で溢れていました。また、どのセミナーも大盛況であり、北海道の今後を見据えた講師陣からの提言に、多くのビジネスマンが熱心に耳を傾けていました。

期間中の来場者数は、次のとおりとなっております。

	2024年	2023年(参考)
11月 7日(木)	9,909名	11,431名
11月8日(金)	11,352名	11,511名
計	21,261名	22,942名

来場者からも、「北海道経済の最新の動きがわかり、DX等の先端技術に触れ、有意義な時間を過ごすことができた」「自社に必要な製品を見つけ、じっくり話を聞くことができた。」など、有難いお言葉も頂戴しております。来場者の皆様にご記入いただいたアンケート結果については、別途報告させていただきます。